

宇治市第9次行政改革大綱における基本施策等（案）

本資料は、現時点での第9次行政改革大綱のアウトラインとしてお示しするものです。
大綱の構成については、本日の議論も踏まえ、検討してまいります。

【基本施策】

行政及び地域社会のデジタル化を更に推進することにより、行政サービスの質の向上を図るため、基本施策1を変更

第8次行政改革		第9次行政改革	
基本施策1	時代に即した行政サービスの推進	➔	<u>地域DXの推進による行政サービスの向上</u>
基本施策2	適正かつ健全な行財政運営の確立		適正かつ健全な行財政運営の確立
基本施策3	連携と協働によるまちづくりの推進		連携と協働によるまちづくりの推進

【基本目標】

第9次行政改革における基本施策ごとの目指すべき指標として、以下の基本目標を設定することで検討

- 行政サービスの市民満足度〇〇%
新型コロナウイルス感染症の拡大を経て変化した生活様式や情報技術の進展など、行政や市民生活を取り巻く環境が大きく変化している中で、今後もデジタル化は不可欠な要素であると考えており、デジタル化による市民の利便性向上を図るため、基本目標とする
- 財源確保額〇〇億円
第8次行政改革では、財政見直しにおける収支不足の解消を目標に設定していた。第9次行政改革では、第6次総合計画の各種施策の取組を推進するために基本目標とする
- 市民協働活動への若者、子育て世代の参加者割合〇〇%
限りある財源、人的資源の中で、複雑化、多様化する行政課題に対応するには、市民をはじめ多様な主体との協働は不可欠であると考えており、若者や子育て世代など、未来のまちづくりの担い手づくりを図る上で、基本目標とする

【具体的な方策】

第8次行政改革の枠組みを引き継ぎつつ、次期計画期間中のポイントを踏まえ、下記のとおり設定

- 既存公共施設の多機能・多用途な有効活用や地域のつながりづくりの促進に向けて、「公共施設の有効活用」→「公共施設の有効活用と市民協働活動の場づくり」を設定

＜基本的な方針＞
まちづくりを支える持続可能な行財政運営の推進

第8次行政改革大綱

基本目標	基本施策	具体的な方策
行政サービスの市民満足度〇〇%	時代に即した行政サービスの推進	行政サービスのデジタル化の推進
		行政事務のデジタル化の推進
		地域社会のデジタル化の推進
財源確保額 〇〇億円	適正かつ健全な行財政運営の確立	事務事業の見直し
		新たな財源の確保
		職員定数及び給与等の適正化と人材育成の推進
市民協働活動への参加者割合〇〇%	連携と協働によるまちづくりの推進	多様な主体との連携・協働の推進
		民間活力の活用
		公共施設の有効活用



第9次行政改革大綱

基本目標	基本施策	具体的な方策
行政サービスの市民満足度〇〇%	<u>地域DXの推進による行政サービスの向上</u>	行政サービスのデジタル化の推進
		行政事務のデジタル化の推進
		地域社会のデジタル化の推進
財源確保額 〇〇億円	適正かつ健全な行財政運営の確立	事務事業の見直し
		新たな財源の確保
		職員定数及び給与等の適正化と人材育成の推進
<u>市民協働活動への若者、子育て世代の参加者割合〇〇%</u>	連携と協働によるまちづくりの推進	多様な主体との連携・協働の推進
		民間活力の活用
		<u>公共施設の有効活用と市民協働活動の場づくり</u>